



◇ 指導方法

中に押すと音のするものを入れた紙のボールを作り、幼児に提示する。

幼児が触ったり、音を出したりして遊び始めたら見守り、様子を見て「〇〇さんも作ってみようか。」と誘う。幼児に無理強いはいはしない。

絵の具をぬる、新聞を丸める、包むという活動を繰り返し、負荷を減らして見通しを持てるようにする。

◇指導のねらい

全盲で絵の具やのり、ポンド等の感触や臭いが苦手で自分から制作活動に取り組めない幼児がいた。音が出るようにすることで、楽しさを味わい、自分から素材にかかわる気持ちを引き出したいと考えた。

◇指導の評価

どうしても教師にさせられる活動になりがちであった制作活動だが、押したり、たたいたりすると音が出るものをつくるようにしたところ、自分から活動に取り組むことができた。制作をしながら「あおむしさん、楽しいって。」と言って自分の喜びを青虫に重ねたり、「みどり、ぬるよ。」と自分から絵の具をぬったりするようになった。